

「ヒト iPS 細胞の軟骨細胞分化における糖鎖発現解析」について

(1) この研究の目的と意義について

この研究の目標は、関節軟骨変性・損傷に対してヒト iPS 細胞から作製した iPS 細胞由来軟骨の移植による再生治療を実現することです。そのために、臨床研究に供することが出来る、安全で有効なヒト iPS 細胞由来軟骨を作る方法を開発することを目的とします。

(2) 研究の方法について

北海道大学では、軟骨の品質を評価するための新しい方法の開発を行います。また、iPS 細胞由来軟骨を作製する際に、iPS 細胞を壊死させる手法を取り入れることにより、より純度が高く安全な軟骨の作製が可能となるかを検討します。

CiRA・妻木研究室は、iPS 細胞由来軟骨を北海道大学に送付します。北海道大学では、送られた軟骨を新しい品質試験方法で評価します。

研究期間 : 承認日～2022年3月31日

研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究所

研究責任者 : 臨床応用研究部門・教授・妻木範行

共同研究機関 : 北海道大学

共同研究機関の研究責任者 : 北海道大学大学院医学研究院 専門医学系部門 機能再生医学分野 整形外科学教室・教授・岩崎倫政

研究で利用する試料・情報等の項目	<試料>iPS 細胞 <情報>性別、年代、HLA 型、核型、感染症検査結果
試料・情報の利用目的及び利用方法	京都大学 iPS 細胞研究所において作製された再生医療などの細胞移植治療を行うのに適した iPS 細胞を、関節軟骨損傷の再生治療法の実用化のための研究に使用することです。
試料・情報を利用する者の範囲	共同研究機関
他機関へ提供する試料や情報等	<試料>iPS 細胞由来軟骨組織 <情報>性別、年代、HLA 型、核型、感染症検査結果

他機関へ提供する方法	<p><試料> 試料の保存状態を維持するための専用容器に封入のうえ、追跡可能な輸送手段により提供先機関まで届けます。</p> <p><情報> 印刷物は追跡可能な輸送手段で提供先機関に送付、電子データは適切な情報セキュリティを確保の上で提供先機関に送信します。</p>
提供先における試料・情報の管理責任者	<p>機関名：北海道大学</p> <p>研究責任者：北海道大学大学院医学研究院 専門医学系部門 機能再生医学分野 整形外科学教室・教授・岩崎倫政</p>

ご不明の点等ございましたら担当コーディネーターまでご連絡ください。

また、iPS 細胞ストックの提供等につきましては下記 URL に情報公開を行っておりますので、ご参照ください。

https://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/research/img/stock/ips_stock_for_donor.pdf?1524188825378

以上